

## シンポジウム

「医療系薬学の学術と教育：健康社会の実現に向けた先進薬物治療の展開を目指して」

1. 主催：日本学術会議 薬学委員会医療系薬学分科会
2. 共催：日本薬学会
3. 後援（予定）：文部科学省、厚生労働省
4. 日時：平成20年4月11日（金）13：00～17：00
5. 会場：日本学術会議講堂
6. 次第

（開催趣旨）

薬学教育においては、平成18年度より6年制の薬剤師教育と薬剤師以外の多様な進路を目指す学生のための4年制学部教育を併置する制度となり、現在、引き続きそれぞれを母体とする5年制および4年制の大学院の設置を目指して大学院における研究・教育のあり方が議論されている。日本学術会議では、これらと関係の深い医療系薬学の学術、教育の将来像や6年制学部教育を母体とする4年制大学院博士課程の教育理念、目標、あるいは養成する人材像を明確化することを目的として、このたび「医療系薬学の学術と教育：健康社会の実現に向けた先進薬物治療の展開を目指して」をテーマにシンポジウムを企画した。医療系薬学の研究・教育を担う立場から、あるいは要請を目指す人材を受け入れる立場から、各界を代表する講師に講演をいただき議論を深めることにより、薬学の将来像について広く社会に向けて発信できるものと期待される。

（プログラム）

開催挨拶 13:00～13:10

真弓 忠範（神戸学院大学薬学部教授ライフサイエンスセンター長、日本学術会議会員）

シンポジウム企画の趣旨 13:10～13:25

橋田 充（京都大学大学院薬学研究科教授、医療系薬学分科会委員長）

医療系薬学の学術と教育 13:25～14:00

山添 康（東北大学大学院薬学研究科教授）

医療薬学研究・教育の役割とその重要性：臨床薬学の立場より 14:00～14:35

谷川原 祐介（慶応大学医学部附属病院教授）

休憩 14:35～14:55

医療系薬学研究・教育への期待：製薬企業における研究、臨床開発、生産立場より

14:55～15:30

未定（日本製薬工業協会に依頼中）

新薬学大学院制度と医療系薬学教育への期待 15:30～16:05

三浦 公嗣（文部科学省高等教育局医学教育課長）

総合討論 16:05～16:50

閉会あいさつ 16:50～17:00

鶴尾 隆（(財) 癌研究会・癌化学療法センター所長、日本学術会議会員）

## 7. その他

事前のお申し込みは必要ありません。

定員は300名で、当日先着順となります。